

2年生(29期生)の皆様 保護者の皆様

コロナ第5波が収束し、学内では対面授業や友達との交流など、学生の元気な声が聞こえるようになり、通常の大学生活が戻りつつあります。保護者の皆様におかれましては、いかがお過ごしでしょうか。

8月28日に予定しておりました、「看護への思いを新たにする式典」は、実習を目前にしている皆さんへの感染の可能性が高まる事象が発生し、急遽、遠隔での式典とさせていただきました。

式典が遠隔になったことに対する皆さんの思いを考え、教員間で検討し、式典を動画として作成しお手元にお届けすることと致しました。前日の練習風景・当日の学長をはじめとする来賓からのご挨拶、先輩からのお祝いの言葉・皆さんの誓いの言葉・呼称などをまとめたものです。

その中には、当日の皆さんの様子とともに、3年生(28期生)が準備していた花束も写っています。先輩たちは、当日大講堂での式典がなくなったことを皆さんと同様に悲しく残念に思っていました。準備した花束を全員受け取ったかと心配し、最後まで残って対応してくれました。また、動画をUSBで配布することを知ると、USBに貼るシールのデザインを提供したいという申し入れがありました。

お手元に届いた素敵なUSBのデザインから、3年生の「灯」の継承への思いが込められていることを感じとっていただきたいと思います。



看護学科 29期生の皆さんへ

コロナ禍において、学生の皆さんだけでなく、教員も試行錯誤して皆さんに関わっています。看護学科教員は、これからも皆さんに看護への魅力を伝える教育を丁寧に行っていきます。動画の最後にも載せましたが、国連で「未来の世代と文化のための大統領特使」に任命された韓国の男性アイドルグループ「BTS (防弾少年団)」のスピーチの一部を、皆さんと共有したいと思います。

人生の中で祝福したい瞬間を失い、動揺したに違いないでしょう。私たちも企画していたコンサートが中止になったときは胸が張り裂けそうでした。一方で、当たり前のように過ごしていた一瞬一瞬が、いかに大切なものであったかに、気づく時間でもありました。

そして、若い世代はコロナ禍でさまざまな経験をする機会を失った「ロストジェネレーション」と呼ばれているけれど、オンライン上で交流を続けたり、新しいことを学んだり挑戦を続けている私たちは、変化を恐れず、それを受け入れ、前に進み続けているのだから、ロストジェネレーションではなく、ウエルカムジェネレーションと呼ばれるべきだと考えます。

朝日新聞デジタル「BTSが国連総会で演説 「世の中は少しずつ前に進んでる」」
2021-10-11 <https://www.asahi.com/articles/ASP9N77GSP9NUHBI01J.html>

皆さん、ウエルカムジェネレーションの姿勢は、29期生としての慈恵会医科大学での新しい大学生活を作り上げることと思います。教員は、29期生が取り組もうとする新しい挑戦を支援していきます。いつでも相談・提案してください。

看護学科教員一同

